

信州上田学地域パートナー連携事業「成果報告会」プログラム

開会（開場：9時10分）		
9:30	①開会の挨拶	小林淳一学長より、開会の挨拶
9:35	②来賓紹介	上田市長 土屋陽一様 ご紹介
9:36	③趣旨説明	庄村栄治 地域づくり総合センター長より、趣旨説明
学生発表		
時間	発表タイトル／グループ名	発表者（予定）
9:40～	地域企業の魅力を発信 私たちは、上田で交わす、はじまりの握手 — UEDAハンドシェイク2025 —	松山結徳、上嶋千愛、澤友、福本京香、福本京香、藤本彩希、 小笠原杏奈、高田美月、筒井咲空、高山那奈（企業情報学部1年） 齋藤 健真（環境ツーリズム学部1年）
	私たちUEDAハンドシェイクは、上田の地域企業の魅力をより多くの方に知つてもらうことを目的に、企業の魅力を紹介する動画等の制作・発信に取り組みました。 本活動では、上田プラスチック株式会社様と信州ハム株式会社様にご協力いただきました。 発表では、学生ならではの視点で制作した動画を紹介するとともに、活動を通して得たものや学んだことについて報告します。	
10:00～	学生消防サークルってなあに？ — 学生消防サークル「長野大学分団」 —	村上柚葉、大橋美優、荒井大輝（社会福祉学部3年） 富永陽生（環境ツーリズム学部3年）井川ひなた（環境ツーリズム学部2年）
	昨年度課題であった「学生の消防団員を増やす」という目標から、今年度は「地域へ出向く」ことをテーマに活動を行いました。 長野大学分団の活動内容を、消防団員としての活動と地域に出向いて行ったサークルとしての活動に分け、今年度の実施内容と今後の目標について幅広く報告します。	
10:20～	上田市の戦争遺跡が若者に語りかけること — Peace Edu. —	小川真央（社会福祉学部4年）、荒濱遼太郎（社会福祉学部3年） 宇野浩輝、滝澤龍之介（社会福祉学部1年）
	2025年度のPeace Edu.の活動内容を報告します。次世代へと継承することを意図し、上田市に複数ある戦争遺跡を上田西高校の生徒とともに訪れました。また、小学生へ向けて語り継ぐ活動を展開しました。 こうした活動を『若者たちへの伝言2025』としてまとめることとなりました。 報告会当日には、Peace Edu.のメンバーが戦争遺跡を訪れて感じたことや児童たちと接する中で考えたことを具体的に報告します。	
休憩10:35～10:45		
10:45～	長野大学ボランティア情報センターの活動報告と 今後の展望 — 長野大学ボランティア情報センター —	和田歩祐奈、宮下聖菜、熊谷亜弓（社会福祉学部4年） 小林美緒（社会福祉学部3年）
	私たち長野大学ボランティア情報センターは、長野大学の学生に向けたボランティア情報の発信やボランティア参加へのサポートといった活動を日々行っています。 今年度は「大学生のボランティア意識醸成」を目標に活動してきました。 長野大学ボランティア情報センターについてや、今年度行った活動とその結果、今後の展望等について報告します。	
11:05～	「道の駅美ヶ原高原」バイカー誘客による道の駅活性化プロジェクト — ビケット —	小泉裕雅、青木優大（環境ツーリズム学部3年）
	道の駅「美ヶ原高原」は、ビーナスラインの終着点に位置し、日本で最も標高が高い道の駅として知られており、バイクツーリストにとって大きな魅力となっています。本活動では、同地を訪れるバイクツーリストの実態や来訪目的を明らかにし、バイクを活用した観光誘致の推進を目的としています。私たちビケットは、バイカーの視点から道の駅の活性化に取り組んでおり、さらに国内でまだ十分に解明されていないバイクツーリズムの実態を、この取り組みを通じて明らかにすることも目指しています。	
11:30～	道の駅「美ヶ原高原」魅力創出プロジェクト — 二代目森とゆかいな仲間たち —	太田唯斗、傳田朱里、内藤武、中嶋大生、村松知紗、望月七菜、 柳本愛子、若山英頌（企業情報学部4年）
	昨年度の取り組みに引き続き、道の駅「美ヶ原高原」が持つ環境や資源を活用し、新たな魅力を創出することを目指す取り組みを行いました。本年度は、日々タスクにおわれている人をターゲットに「一見“むだ”なことがもたらす、憩いとリフレッシュの機会の提供」をテーマにして、事業内容を検討し、実施してきました。ありたい姿を「ここで『かえる』（返る、変える、買える）場所」とし、その姿に向かうコンセプトを「むだで立ち止まり憩う」と策定しながら、物販の事業「Veil」を実際に展開し、同時に、広大な野外空間を活かした「新事業」の展開を検討してきました。その取り組みの様子を報告します。	
閉会		
11:55	上田市長からのご講評	上田市長 土屋陽一様より、ご講評
12:02	閉会	